

○愛媛県告示第289号

愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例（平成20年愛媛県条例第15号。以下「条例」という。）第19条第1項の規定に基づき、次のとおり特定希少野生動植物保護区を指定する。

平成21年3月6日

愛媛県知事 加戸守行

1 特定希少野生動植物保護区の名称

庄内地区ハッチョウトンボ保護区

2 指定の区域

西条市旦之上乙1番12地内の区域

3 指定に係る特定希少野生動植物

ハッチョウトンボ

4 指定の区域の保護に関する指針

(1) ハッチョウトンボの生息のために確保すべき条件

ハッチョウトンボは、西条市の一部にしか生息していない特定希少野生動植物である。当該区域におけるハッチョウトンボの生息には、水量の確保並びに水質及び植生の保全が必要である。

(2) 生息条件を維持するための環境管理の指針

ハッチョウトンボの生息条件である水量の確保並びに水質及び植生の保全のため、事業者及び県民は、当該区域のハッチョウトンボの保全に努めるとともに、各種行為が水量、水質など生息環境に著しい影響を及ぼすことのないよう配慮するものとし、次のとおり生息環境の適切な管理を行うものとする。

ア 工作物の設置は行わないこと。ただし、既存施設の維持管理に必要な施設及びハッチョウトンボの保護管理のための施設の設置については、この限りでない。

イ 現状の地形の維持を図るため、土地の形質の変更は行わないこと。ただし、既存施設の維持管理及びハッチョウトンボの保護管理のために必要な土地の形質の変更については、この限りでない。

ウ 現状の地形及び地質の維持を図るため、鉱物の採掘及び土石の採取は行わないこと。ただし、あらかじめ知事に届け出た学術研究目的であって、現存するハッチョウトンボの生息に支障を及ぼさない小規模な土石の採取については、この限りでない。

エ 現状の地形の維持を図るため、水面の埋立ては行わないこと。

オ 生息条件の維持のため、湿地の水位又は水量に著しい増減を生じさせるような行為は行わないこと。

カ 木竹の伐採は行わないこと。ただし、ハッチョウトンボの生息に支障を及ぼしている木竹の除去については、この限りでない。

キ 踏み付け等によりハッチョウトンボの生息に支障を及ぼすおそれがあるため、車

馬の乗り入れは行わないこと。

ク 当該区域内に生息し、又は生育する野生動植物以外の個体であって、ハッチョウトンボの生息に影響を及ぼすおそれのある動植物を放ち、若しくは植栽し、又はその種をまく行為は行わないこと。特に、ハッチョウトンボの幼虫を捕食するアメリカザリガニを区域内に放たないこと。

ケ 殺虫剤及び除草剤は散布しないこと。

コ 火入れ及びたき火は行わないこと。

(3) 留意事項

(2)アただし書、イただし書、ウただし書及びカただし書に定める行為を行うに当たっては、ハッチョウトンボの生息状況に十分配慮し、当該行為によるハッチョウトンボへの影響を最小限に抑えるよう努めること。

5 立入制限地区

立入制限地区は指定しない。